

おしゃべりコーナー

（目次）

< 今月の歌 >

「[ああ上野駅](#)」

（美賀多台・つだわたる）

< ショート・ショート >

「[櫂](#)」

（春日台・大西 No.13）

< 東京通信 >

「[東京に来て早ひと月](#)」

（西東京・Alice No.1）

< 西神の花 >

「[月下美人](#)」

（竹の台・島田 No.1）

< 今月の歌 >

『ああ上野駅』 唄：井沢八郎、作詞：関口義明、作曲：荒井英一

https://youtu.be/fEFMJ_kXtk?si=2Tbam-bSsztnIMcm

これは 1968 年に発表された集団就職をテーマとした歌謡曲です。私とは一世代違いますし、上野駅も集団就職も関係ありません。



生まれ育ったのは姫路で、働いたのは大阪、神戸ですから、この歌とは全く合いません。ましてや親孝行などとは程遠い人生です。

家を出て働き始めたのは 1976 年で、転職して神戸に来たのが 1978 年ですから、恐らくその頃に聞いた歌です。

この歌を聞くと、40 年以上前のその頃の心境を思い出します。「くじけちゃならない人生が、あの日ここから始まった」という 1 節がありますが、それが心にしみじみと染みたのです。

学生時代は、あんまり真面目に人生を考えてこなかったのですが、働くこと、仕事を教えてもらうことを通じて、ようやく人と人との関係を考えました。

厳しさや人のやさしさを感じて、どのように生きていくかを、おぼろげながら道が見えてきた時期だと思います。

振り返ってあまり後悔することのない人生ですが、この歌を聞いた時に、あの頃に人生を考え、生き方を決めたなあ、という感慨が湧いてきます。

音痴ですからカラオケではあまり歌いませんし、この歌も歌ったことはありません。

♪ どこかに故郷の 香りをのせて
入る列車の なつかしさ
上野は俺らの 心の駅だ
くじけちゃならない 人生が
あの日ここから 始まった

(セリフ)

母ちゃん、僕がいなくなったんで
母ちゃんの畑仕事も大変だろうな、
今度の休みには必ず帰るから
その時は母ちゃんの肩も
もういやだっていうまで叩いてやるぞ、
それまで風邪ひかないでな！

♪ 就職列車に ゆられて着いた
遠いあの夜を 思い出す
上野は俺らの 心の駅だ
配達帰りの 自転車を
とめて聞いている 国なまり

♪ ホームの時計を 見つめていたら
母の笑顔に なってきた
上野は俺らの 心の駅だ
お店の仕事は 辛いけど
胸にやでっかい 夢がある

(美賀多台・つだわたる)

[目次へ](#)

<ショート・ショート> ちょっとした気づきやつぶやき・・・

「欒」

庭に欒の木があった。

西神ニューウタウンで家を建てたとき、
年配の大工から
「家を建てたら木を植えてください」
といわれた。

庭に小さな欒を植えてもらった。

それから 20 数年、
春の新緑、夏の緑陰、
秋の落ち葉を繰り返しながら
二階の窓から見上げるほどに
大きくなった。

だが台風や強風で
家屋に倒れ掛かるほど高くなっていた。

迷った末に植木屋に伐採してもらった。

残った切り株には今も約 30 本の
年輪が刻まれている。

空ばかり大きくなって
寂しくなった庭を眺めながら
欒のことを思い出している。



(春日台・大西 No.13)

[目次へ](#)

< 東京通信 >

「東京に来て早や1か月」

皆様、沸騰する夏のお疲れは出ていませんか？

8/21 に神戸を発ち、西東京市に来て
早や 1 か月が経とうとしています。

皆様にはもうすっかり
忘れ去られたかもしれませんが、
私は旅行者が民泊でもしている気分で
毎日が新しい発見です。

「東京は物価が高いでしょ？」とよく言われますが、
同じようなスーパーがあり、
Doutor もサイゼリアも値段は同じです。

それよりも西友など朝の7時半から深夜1時まで、
所によっては1日中開いており、
我がアパートの前のゲオは深夜1時までで
お陰でリビングの電気を点けなくても明々としています。

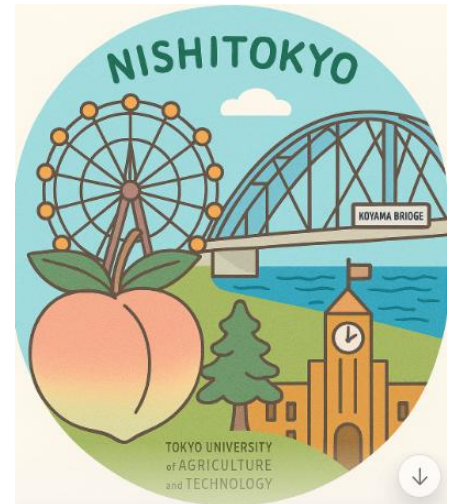
東京はお金持ちです。
65歳以上エアコン購入時は、
何台でも8万円ずつ補助があり、
買い替えは西東京市が 1.5 万円補助で
お陰で6万円ほどで買えました。

10/1 から始まる70歳以上のシルバーパスは
年間12000円(収入130万以下は1000円！)で
都電とバス(民間も)乗り放題！

9/20 には孫崎享元外務省国際情報局長の
講演「横田基地もいらない！沖縄と共に声をあげよう」
を聴きに行きます。

高齢者が元気！90才以上の方々が
スイスイ自転車をこいでいく様は
まるで不思議の国にやってきたようです。

ごきげんよう！



<西神の花>

「月下美人」

9/5 の運営委員会で話題に出ました「月下美人」をご紹介します。

写真1はちょっと古いですが、2011 年の秋、我が家で咲いた「月下美人」です。珍しかったので、近所の方々にも見てもらいました。今は、枯らしてしまいましたが・・・残念！

8/29、知り合いの家を訪問した時も、月下美人の話題になり、「もうすぐ咲きそうだね」との話でした。そこで、9/5 の夜、のぞきに行きましたが、すでに咲き終わっていました。多分、3-4 日前に咲いたのだと思います。なかなか難しいものです(写真2)。



写真1 我が家で咲いた月下美人

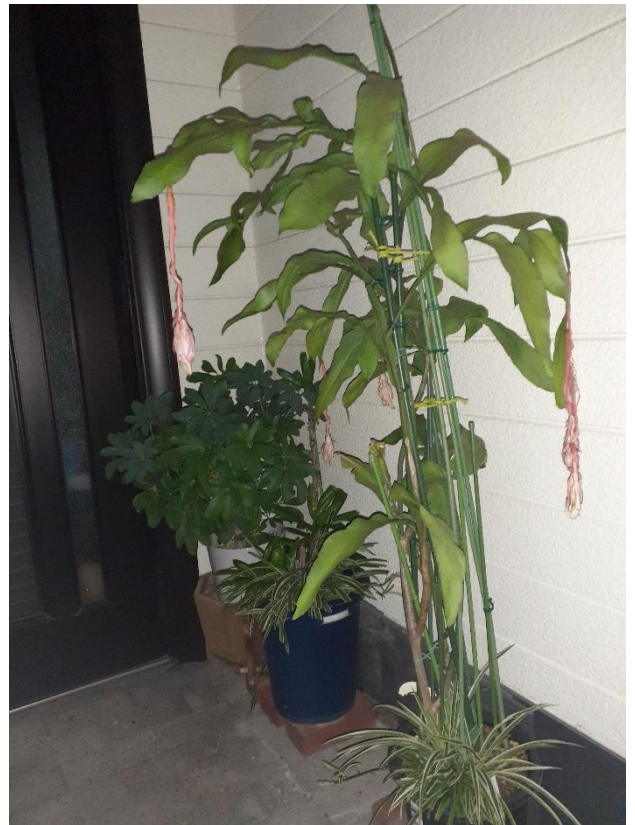


写真2 友人宅の月下美人

因みに、「月下美人」の花言葉は「儂い美」「儂い恋」「ただ一度だけ会いたくて」「強い意志」「秘めた情熱」などが代表的ですが、「月下美人」が夜に開花し、翌朝には、もうしぼんでしまうという、その短くも美しい花の命に由来しているそうです。

ところで、私は、駅までの歩道に咲いている花をひんぱんに撮っています。ごく普通の花ですが、通行人を和ませてくれます。

また、日頃よりニュータウン内をうろうろしていますので、時々、いい花を見つけては写真を撮っています。

この「西神の花」シリーズでは、四季折々の花の写真がご紹介できるかと思います

皆さんからもぜひ、近隣でのニュータウンの花便りをお寄せ下さい。

(竹の台・島田 No.1)

[目次へ](#)